



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2014/2/28にご同意いただいた方

【研究課題名】 バイオバンク検体を用いた精神疾患バイオマーカーの探索

【研究責任者】 功刀 浩（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第三部）

【本研究の目的及び意義】

血液中の様々な物質（タンパク質、アミノ酸、糖、遺伝子）と診断・症状評価との関係を調べ、うつ病や統合失調症などの診断・治療の目印になる物質（バイオマーカー）を探す。一部の方について、神経栄養因子やインターロイキン、腫瘍壊死因子、ディスク1、ディスバインジン、カテコール O-メチル基転移酵素、ABCB1などの遺伝子多型（遺伝子の個人差）の解析も予定している。治療薬の効き目が他と違う方、特殊な症状をもつ方などに対して一度に100万もの遺伝子多型を調べ、治療薬の選択や原因遺伝子の絞り込みを行うことも計画している。この研究は他の大学などの研究機関とも共同で行う。各機関における解析内容はNCNPBB-0001～0005の通りである。

【本研究に提供している試料・情報】

DNA・血液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)